

令和7年1月29日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

市町村名 (市町村コード)	新郷村 (02450)
地域名 (地域内農業集落名)	戸来地区 (中野平、新町、下通り、中通り、南町、丹内沢、館神、大久保、中里、田中、扇ノ沢、鹿田、松木田)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年12月10日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

地区全体の約8割の農家が60歳以上で高齢化が進んでおり、今後、農地を担える人材不足の懸念がある。農道や排水溝等の整備が不十分で、小規模で不整形な農地が多いため、作業効率が悪い。山間部については、条件が悪い農地の荒廃化が進んでいる場所もある。

(2) 地域における農業の将来の在り方

集落の農地は集落内の中心経営体が担うこととするが、入作を希望する農業者や認定新規就農者の受入れを促進することで、遊休化される農地が増加しないよう対応していく。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	426 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	426 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地区域内の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
村、農業委員会を中心として担い手の貸借意向等の情報を収集し、担い手へ利用集積を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
貸借には農地中間管理事業を活用し、担い手の経営意向を尊重した集約化を進める。
(3)基盤整備事業への取組方針
中山間地域に位置しているため小規模で不整形な農地が多く、連坦化された田も少なく分散されていることから事業実施は困難である。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
多品目生産の担い手が多く、村内外から多様な経営体を募集するべく継続して情報発信を行っていく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
機械設備等を持つ農家に、稲刈り等の一部作業を委託している。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

⑦中山間地域等直接支払交付金を活用し、農地の保全・管理している。

令和7年1月29日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

市町村名 (市町村コード)	新郷村 (02450)
地域名 (地域内農業集落名)	小坂地区 (長峰、小坂、上栃棚、下栃棚、羽井内)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年12月12日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
 注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

地区全体の約8割の農家が60歳以上で高齢化が進んでおり、今後、農地を担える人材不足の懸念がある。農道や排水溝等の整備が不十分で、小規模で不整形な農地が多いため、作業効率が悪い。山間部については、条件が悪い農地の荒廃化が進んでいる場所もある。

(2) 地域における農業の将来の在り方

集落の農地は集落内の中心経営体が担うこととするが、入作を希望する農業者や認定新規就農者の受入れを促進することで、遊休化される農地が増加しないよう対応していく。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	243 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	243 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地区域内の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
村、農業委員会を中心として担い手の貸借意向等の情報を収集し、担い手へ利用集積を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
貸借には農地中間管理事業を活用し、担い手の経営意向を尊重した集約化を進める。
(3)基盤整備事業への取組方針
中山間地域に位置しているため小規模で不整形な農地が多く、連坦化された田も少なく分散されていることから事業実施は困難である。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
多品目生産の担い手が多く、村内外から多様な経営体を募集するべく継続して情報発信を行っていく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
機械設備等を持つ農家に、稲刈り等の一部作業を委託している。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

⑦中山間地域等直接支払交付金を活用し、農地の保全・管理している。

令和7年1月29日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

市町村名 (市町村コード)	新郷村 (02450)
地域名 (地域内農業集落名)	川代地区 (川代、滝沢、荒巻、女ヶ崎、田茂代、大欠平、樺ノ木、長崎、水沢、一ノ沢、大畑)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年12月17日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
 注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

地区全体の約8割の農家が60歳以上で高齢化が進んでおり、今後、農地を担える人材不足の懸念がある。農道や排水溝等の整備が不十分で、小規模で不整形な農地が多いため、作業効率が悪い。山間部については、条件が悪い農地の荒廃化が進んでいる場所もある。

(2) 地域における農業の将来の在り方

集落の農地は集落内の中心経営体が担うこととするが、入作を希望する農業者や認定新規就農者の受入れを促進することで、遊休化される農地が増加しないよう対応していく。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	499 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	499 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地区域内の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
村、農業委員会を中心として担い手の貸借意向等の情報を収集し、担い手へ利用集積を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
貸借には農地中間管理事業を活用し、担い手の経営意向を尊重した集約化を進める。
(3)基盤整備事業への取組方針
中山間地域に位置しているため小規模で不整形な農地が多く、連坦化された田も少なく分散されていることから事業実施は困難である。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
多品目生産の担い手が多く、村内外から多様な経営体を募集するべく継続して情報発信を行っていく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
機械設備等を持つ農家に、稲刈り等の一部作業を委託している。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

⑦中山間地域等直接支払交付金を活用し、農地の保全・管理している。

令和7年1月29日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

市町村名 (市町村コード)	新郷村 (02450)
地域名 (地域内農業集落名)	西越地区 (堂ヶ前、西越、西越田中、浮口、大谷地、横沢、間明田、平、中崎、郡司、釜坂、崩)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年12月19日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

地区全体の約8割の農家が60歳以上で高齢化が進んでおり、今後、農地を担える人材不足の懸念がある。農道や排水溝等の整備が不十分で、小規模で不整形な農地が多いため、作業効率が悪い。山間部については、条件が悪い農地の荒廃化が進んでいる場所もある。

(2) 地域における農業の将来の在り方

集落の農地は集落内の中心経営体が担うこととするが、入作を希望する農業者や認定新規就農者の受入れを促進することで、遊休化される農地が増加しないよう対応していく。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	416 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	416 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地区域内の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
村、農業委員会を中心として担い手の貸借意向等の情報を収集し、担い手へ利用集積を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
貸借には農地中間管理事業を活用し、担い手の経営意向を尊重した集約化を進める。
(3)基盤整備事業への取組方針
中山間地域に位置しているため小規模で不整形な農地が多く、連坦化された田も少なく分散されていることから事業実施は困難である。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
多品目生産の担い手が多く、村内外から多様な経営体を募集するべく継続して情報発信を行っていく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
機械設備等を持つ農家に、稲刈り等の一部作業を委託している。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

⑦中山間地域等直接支払交付金を活用し、農地の保全・管理している。